



平成24年 3月22日  
四国地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、本年度第4回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成23年10月から平成23年12月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成24年 3月 9日(金)

会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 南 守 (内線2114)

契約管理官 渡辺 晴彦 (内線2222)

技術開発調整官 藤山 究 (内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第4回定例会議 審議概要

開催日 及び場所	平成24年3月9日(金) 高松サンポート合同庁舎13階会議室					
委員 (部会委員 5名)	部 会 長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委 員 大西 均(公認会計士) 委 員 島 弘(高知工科大学大学院教授) 委 員 白井 一郎(弁護士) 【欠席】 委 員 三野 靖(香川大学教授)					敬称略 委員は50音別
審議 対象期間	平成23年10月1日～平成23年12月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事)	平成23-24年度 井門高架橋上部工事	(株)ピーエス 三菱	839,475	13	87.40
	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成23年度 八万舗装工事	県西土木(株)	85,050	6	88.42
		平成23年度 本田法面外工事	入交建設(株)	82,950	6	92.84
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型 競争	平成23年度 森山地区外地質調査業務	応用地質(株)	17,745	9	86.01
	標準プロポー ザル	平成23年度 物部川・淀川堤防耐震対策検討 業務	(株)建設技術 研究所	8,820	4	98.94
役 務 及び物品	一般競争	四国技術情報提供システム(YTI S)改良作業	(株)四電技術コ ンサルタント	1,806	3	94.51
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p><b>平成23-24年度 井門高架橋上部工事</b></p> <p>技術提案の加算点について、業者間において大きな差があるのは何故か。</p>	<p>技術提案の内容が、一般的なものから品質向上に効果のある提案まであり、それにより差がついたものである。</p>
(2) 一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p><b>平成23年度 八万舗装工事</b></p> <p>施工体系図に下請け率の経過があるが、何か意味があるのか。</p> <p>施工体系図によると、1次下請け業者から2次下請け業者への請負金額が大きいのが、問題はないのか。</p> <p>2次下請け業者に責任有る主任技術者がいるのであれば、1次下請け業者となり得るのではないのか。</p>	<p>参考に付けたものである。</p> <p>1次下請業者は、2次下請業者が行う工種の施工管理等を行っている。さらに当局の監督職員も現地で確認を行っており建設業法上も問題はない。</p> <p>施工管理における元請業者の判断と考えている。</p>
<p><b>平成23年度 本田法面外工事</b></p> <p>技術提案の評価基準に「現地環境条件」との語句が見られるが、その意味と、その意味がどう伝わっているのか。</p>	<p>冬場の温度、法面の状況、排水状況等であり、発芽率を高める工夫を求めている。現地を見ることにより理解できると考えている。</p>

(3)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p><b>平成23年度 森山地区外地質調査業務</b></p> <p>参加表明者が9者であるが、参加要件を満たす者は何者あるのか。</p> <p>入札参加者選定評価において、業者間の点数に大きな差があるが、点数によつての指名・非指名の基準はないのか。</p> <p>基準がないのであれば、評価する必要もないのではないか。</p> <p>不適切な業者を排除するために、基準を設けて、その基準を満たさない者は排除していくべきではないか。</p> <p>入札参加者を選定する際に評価を行った項目については、再度評価する必要はないのではないか。</p> <p>入札参加者を選定する際の予定主任技術者の評価をなくし、技術評価の際のみに行えば良いのではないか。</p>	<p>入札参加資格基準に「営業拠点(本店、支店、営業所等)が四国地方整備局管内に存在」とあり、その基準を満たす者は12者以上と確認している。</p> <p>点数による指名・非指名の基準はない。</p> <p>入札説明書において10者指名するとしており、今回は9者の参加表明であったが、10者を超える参加表明があった場合は、点数により10者に絞り込みを行っている。</p> <p>競争参加資格は別途確認しており、資格を満たす者について加算点方式で点数を計算している。</p> <p>業務における予定主任技術者の能力は、成果品の品質に大きく影響することから、技術提案等とあわせて再度評価を行っている。</p> <p>全国ベースの話であるので、意見は伝えていきたい。</p>
(4)標準プロポーザル方式(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p><b>平成23年度 物部川・仁淀川堤防耐震対策検討業務</b></p> <p>資格要件等の設定の考え方に、業務対象地域「四国」とした意味はなにか。</p> <p>5者を選定しているが、5者は規定等に基づくのか。</p>	<p>本業務を実施するのにあたっては、地域の地盤条件・土地利用条件等を熟知している必要があることから、四国内における業務実績のある者を選定することとした。</p> <p>通達において5者を選定するようになっている</p>

(5) 一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p><b>四国技術情報提供システム(YTIS)改良作業</b></p> <p>今回受注した業者は、システムを開発した業者か。</p>	<p>システムを開発した業者であり、いままでにも改良等を行っている者である。</p>

2. 談合情報等に係る対応状況について

意見・質問	回答
<p>2件調査等行い、開札に至っているが、落札率はどうかだったのか。</p>	<p>落札率は89.4%、87.37%である</p>

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
<p>特になし</p>	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
<p>特になし</p>	

5. 全体について及びまとめ

意見・質問	回答
	<p>2次下請け金額が多額の場合については、今後とも注視していただきたい。</p>